

社団法人 高知県測量設計業協会  
設立30周年記念誌



## ごあいさつ

(社)高知県測量設計業協会 会長 小田 義人…… 4

## 設立30周年を祝して

高知県議会議員 顧問 東川 正弘…… 5  
(社)高知県測量設計業協会

## 祝 辞

高 知 県 知事 橋本大二郎…… 6

高 知 市 市長 岡崎 誠也…… 7

国土交通省四国地方整備局 局長 北橋 建治…… 8

国土交通省国土地理院四国地方測量部 部長 林 聖人……10

高知県土木部 部長 久保田一水……11

(社)全国測量設計業協会連合会 会長 尾野 安次……12

(社)全国測量設計業協会連合会四国地区協議会 会長 松本 茂樹……13

(社)日本測量協会四国支部 支部長 三井 宏……14

## 設立30周年記念行事

●次第「式典・記念講演会・記念祝賀会」……16

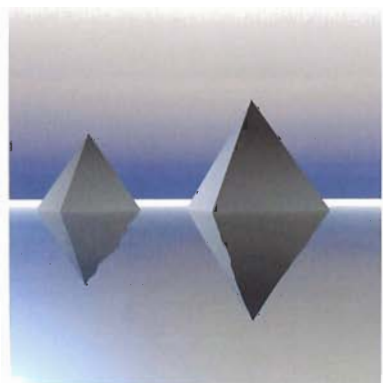
●「式典・記念講演会・祝賀会」来賓ご芳名……18

●式 典……22

●記念祝賀会……26

●受賞者名……20

●記念講演「人・巡り会い四国遍路」オカリナ奏者／本谷美加子……29  
(小さな小さなコンサート)



## 特別寄稿

体と心と脳を鍛える	(株)アンプル	代表取締役	西川 和正	…40
人の出会い	(株)協同	代表取締役	今津 譲滋	…41
協会設立30周年を迎えるに当って	構営技術コンサルタント(株)	代表取締役	橋口 孝好	…42
協会設立30周年に思うわが社のルーツ	(有)サーバイテック	代表取締役	細木 俊輔	…44
将来への期待(設立30周年に思う)	藤サン土木コンサルタント	代表取締役	公文 重徳	…45
ボール会と共に	(株)セイミツ	代表取締役	細木 伸一	…48
効率化の弊害	(株)第一コンサルタンツ	専務取締役	右城 猛	…49
どう生きる高知の建設業	大土コンサルタント(株)	代表取締役	岸 圭介	…51
私の趣味	地建測量(有)	代表取締役	大久保喜正	…53
こうちの県民性	(有)山崎設計コンサルタント	代表取締役	山崎 次朗	…55
30周年によせて…資格の周辺を見る	(株)ワタリコンサルタント	代表取締役	山本 克彦	…56

## 30年のあゆみ

沿革	…58
歴代役員	…59
協会組織図・委員会活動	…62
協会の活動	…63

## 会員名簿



## ごあいさつ

(社)高知県測量設計業協会

会長 小田 義人



高知県測量設計業協会が社団法人の認可を受け、平成17年12月をもって記念すべき30周年を迎えました。

振り返ってみますと、昭和39年、7社により任意団体として設立されていた「高知県測量協会」がございました。この団体を前身母胎といたしまして、昭和50年12月1日、11社の少数会員が集い、公益法人としての「社団法人 高知県測量設計業協会」が誕生いたしました。

そして2年後の昭和52年、「社団法人 全国測量業団体連合会(現、社団法人 全国測量設計業協会連合会)」が発足すると同時に加入し、さらに同年、四国4県で構成された全測連の下部組織である「四国地区協議会」に加入いたしました。

昭和50年代には、高知県の業界に同じ目的を持ったもう一つの団体である「社団法人 高知県測量設計協会」がございました。昭和56年に関係各位のご尽力とご協力によって、この2つの団体が合併いたしました。

現在では会員数も30社となり、高知県を代表する唯一の業界団体に成長いたしました。これもひとえに関係各位のご指導とご支援によるもので厚く感謝申し上げますと共に、先輩諸兄のご努力に衷心より敬意を表したいと思います。

協会設立当初は、オイルショックの後遺症が尾を引き節約が美徳とされる時代でした。その後、しばらく景気の停滞が続きましたが、戦後最大といわれるバブル経済に突入してからは、右肩上がりの公共事業に人手不足をもたらすほどの活況を呈しました。しかしバブル崩壊が始まり、平成9年をピークに公共投資は減少に転じ、景気回復が叫ばれ出した今日においても公共事業の削減は続いており、大変厳しい環境におかれています。

この間私たちは、企業の体質強化や技術者の養成に努め、高知県の地場産業として社会資本の整備に携わってまいりました。また、高知県は度重なる大規模な自然災害にみまわれてきました。協会員は国や地方自治体からの要請による災害復旧業務についても、地域事情を熟知した地元企業として当然の義務であると認識し、積極的にこの対応を図ってまいりました。

最近の社会情勢は少子高齢化、国際化、情報化などが著しく、また行財政改革がより一層推進されようとしています。

協会員は、この30周年という大きな節目をステップに、多様化する社会のニーズに適切に対応してまいりますので、皆様のさらなるご指導とご協力をお願い申し上げます。

## 設立30周年を祝して

高知県議会議員  
(社)高知県測量設計業協会  
顧問 **東川正弘**



この度の貴協会設立30周年誠におめでとうございます。

また、その記念誌の立派に発刊されましたことも併せて心からお慶び申し上げます。

さて、30年という歳月は、人間に例えましても「立つ」と謳われているように、正に躍動する壮年期を現わし、今後の発展が大きく期待されている時期であります。

然しながら「時利あらず。」とは言いたくありませんが、ご他聞に洩れず貴協会を取り巻く経済環境も、他の公経済依然型産業界同様に極めて厳しい状況下であり、それだけに30年の風雪を乗り越えてこられた会員の皆様はじめ会長他役職員各位の並々ならぬご努力の足跡が今更のように感慨深く偲ばれるのであります。

今や国・県・市町村など公共団体の進める社会資本整備事業も年々予算規模を縮小され、更に設計単価や仕様等発注条件も一段と厳しい内容に変革されるなど、業界淘汰のやむなき社会環境を醸し出しています。

そのような中で昭和50年12月、貴法人設立の初年には11社であられた会員企業が30年を経た今日奇しくも30社と発展され、本県を代表する業界団体にと成長されましたことに心からの敬意と感謝の意を表させて頂く次第でございます。

本県の近未来には、年々確率を高めつつある南海大地震の予測が横たわっており、防災へのハード整備や国土地籍調査事業など、貴協会の果たされる役割りや関連ビジネスチャンス開拓の期待も大きく広がっています。

この度の30周年という節目を新たなスタート台に、この節目からの萌芽が、50年、100年へと限りなく成長し、やがて大いなる巨木に飛躍されます事を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 祝 辞

高知県知事  
橋本 大二郎



社団法人 高知県測量設計業協会が設立30周年を迎えられますことを、心からお祝い申し上げます。

貴協会の皆様方には、公共事業に係る測量及び設計業務を通じ、県行政の発展に多大のご協力・ご支援をいただき、この場をお借りして厚く感謝申し上げます。

さて、ここ数年、国の三位一体の改革等により、地方の行財政を取り巻く環境は大変厳しいものとなっていますが、一方では、自らの力で歩むことができる自立に向けた努力もしていかなければなりません。

こうした社会情勢を踏まえ、県庁では組織のスリム化とともに民間との役割分担を行うことにより、行政サービスの質の向上や雇用の拡大を図る取り組みを進めています。具体的には、平成20年4月までに知事部局における業務の30%をアウトソーシングすることとしました。これは、県庁職員が直接従事しなければいけない業務以外は、専門的なノウハウを持った民間の方々の力を借りながら県民サービスを行って行くというものです。日頃から測量設計業務における技術力の向上と研鑽に努められている貴協会員の皆様方には、何かとご協力をいただきたいと思います。

また、現在、社会問題となっているホテルやマンションの耐震強度偽装問題では、設計者のモラルが問われていますが、貴協会がこれまでの30年の歴史で積み重ねてこられた高い信頼性は、県民の皆様の大変貴重な財産となっているものと思います。

このように、県民の皆様のご期待に応えられる行政を進めるためには、今まで以上に皆様方と連携をとりながら事業を進めることが大切だと考えていますので、これまで以上のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、社団法人 高知県測量設計業協会の益々の発展と協会員の皆様のご健勝を心からお祈りいたします。

# 祝 辞

高知市長  
岡崎 誠也



このたび、高知県測量設計業協会が設立30周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴協会は、昭和50年12月の設立以来着実に歩んでこられ、あらゆる施策の基盤となります測量設計に携わる会員の皆様の、中心的な役割を担われ、産業の発展、行政の効率化、国民生活の高揚に寄与し、充実発展して来られましたことに深く敬意を表します。

現在、グローバル化、情報化、少子高齢化が進展する中で、国の三位一体の改革などの構造改革や、平成の大合併など、社会構造や仕組みが大きく変化してきています。自治体においても、その動きに対応しながら、地域の独自性を更に高めるために、地域発展に向けた新たな取り組みが重要となってきたとともに、プロセスと成果を重視した行政運営が求められています。

そのような中、本市は、豊かな自然環境に恵まれた地勢を財産として、「暮らしゆたかに」「暮らしいきいき」「暮らしあんしん」を掲げ、「こころ豊かなしあわせ都市・高知」の実現に取り組んでいまして、南四国の政治、経済、文化をリードする活力ある中核市としての発展を目指しています。その実現のためには、国土建設、土地利用・管理、運輸、防災等あらゆる施策の根幹に携わります皆様のお力が是非とも必要となっているところでございまして、高知県測量設計業協会並びに会員の皆様の、これまで以上のご尽力をお願いしたいと考えています。

現在、本市では高知駅周辺・弥右衛門・潮江西部の3か所で土地区画整理事業を施行しておりますが、換地を行う基本は測量(図)でございますし、測量設計は様々な公共事業に欠かせないものであります。また、地籍調査につきましては、次の南海地震の発生予測を踏まえた上で、迅速な災害復旧を図る観点から、平成17年度の浦戸地区をかわきりに地籍調査に着手しております、会員の皆様方のお力を借りし、30年後の完了を目指しているところでございます。

測量設計業は、今や登録業者が1,400を超える業種となり、重要な産業分野を占めるに至っていますが、現在の測量設計業を取り巻く環境は、規制緩和やボーダレスの時代を迎え、業務量の確保や測量業務の電子化によります設備投資と人材育成などの課題があり、大変厳しい状況であると拝察いたしています。また、都市部では景気が回復してきていますが、地方ではまだその実感がない状況ですので、貴協会が、設立30周年の節目を契機とされ、会員の皆様方が更なる連携のもと、技術の向上と経営基盤の確立に英知を結集していただき、この難局を乗り越え、地域の豊かな生活環境づくりに取り組んでいただきたいと思います。

最後になりましたが、高知県測量設計業協会の益々のご発展と皆様のご活躍を心から祈念申し上げ、ご祝辞とさせていただきます。

## 挨拶

国土交通省四国地方整備局  
局長 北橋 建治



社団法人 高知県測量設計業協会が、設立30周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴協会は、昭和50年12月1日に設立され、今日では会員30社を数えるまでに成長されました。この間、役員及び会員各位のご努力により、測量設計業界の発展と技術の向上に大きく貢献されるとともに、四国地方の社会資本整備に多大の貢献をされてまいりました。深く敬意を表するものであります。

さて、四国地方のこの30年を振り返ってみますと、関係者みなさまの頑張りにより、四国3橋時代、Xハイウェイなど交流連携の時代にふさわしい基盤整備が進んできております。しかし、平成16年に相次いで台風が襲来、うち6個が四国に上陸、本来災害が少ないといわれてきた瀬戸内地方でも尊い人命や貴重な財産を失う甚大な被害が発生しました。一転、平成17年は大濁水に見舞われ、工場での生産調整や上水道の減圧給水など、地域住民の生活にまで影響が及びました。その後台風14号が襲来し、利水容量がゼロとなっていた早明浦ダムでは、水を一気に貯め込み貯水率100%に回復したものの、四国各地では浸水被害や土砂災害など地域社会へ深刻な打撃を与えました。我々がいかに降雨等の自然条件に左右される基盤の上で生活しているか、痛感させられた年となりました。

公共工事は無駄だと言う人がいますが、四国にはやらなければならない基盤整備が山のようにあります。近年、降水量の多い年と少ない年の変動が拡大し、治水、利水に対する安全度が低くなっています。また、高知県は、東南海・南海地震が発生すれば、甚大な被害が生じる地域であり、「安全・安心で豊かな暮らしができる地域づくり」の基盤整備を急いで展開することが、四国で暮らす人々の切実な願いであると受けとめています。地域の人々とコミュニケーションを図りながら、地域から信頼を得るため、何ができるか、どのような整備をするか皆と一緒に考えることが大切であります。

その期待に応えるため、緊急度の高いところから、防災事業や高速道路の8の字ルートなど基盤整備を着実に推進してまいります。今世紀前半にも発生が予想される東南海・南海地震の対策では、平成17年6月、四国にある15の国の地方出先機関の長及び四国4県の防災担当部局長で構成する「四国東南海・南海地震対策連絡調整会議」を設立しました。それぞれの機関の情報を共有するとともに組織横断的かつ広域的な連



携を凶ることにより、東南海・南海地震に備えた対策を着実に実施する体制が整えられたといえます。また、四国には、瀬戸内海の多島美、四万十川の清流などの良好な自然やお遍路さんに代表される歴史・文化といった貴重な魅力・資源があります。これからは四国独自の魅力を高めることにより、日本全国あるいは海外からも人を四国に呼び寄せ四国を活性化していくことが必要であり、平成17年9月に、四国内外の観光、文化、経済分野の有識者で構成する「美しい四国づくり委員会」を設立しました。四国の財産ともいえる「お接待の心」を大切にしながら、美しく魅力溢れた地域づくりの実現に向け、地域住民、産学官の協働のもと取り組みを推進していく所存であります。

一方、平成17年は、公共調達の革命の元年ともいえる年でした。いわゆる品確法が施行され、価格だけでなく、品質の確かなものを適正な価格でつくっていかうという取組が本格的に始動しました。公共工事は「安ければいい」ではいけない。工事の発注においては、一般競争入札及び総合評価方式の拡大に努め、平成19年度には全ての工事において原則、一般競争入札かつ総合評価方式を適用します。公共工事に関する調査・設計についても、工事と同様に、競争参加者の技術的能力を審査、競争参加者に対して技術提案を求め、「価格競争」から「価格と品質で総合的に優れた調達」への転換に向け、新しい発注方式を試行、プロポーザル方式など提案力や技術力で競争していく取組みを直轄で手本を示し、市町村に広がるように推進していく所存であります。

建設業界にとっては厳しい時代を迎えておりますが、地域の文化・伝統に精通し、住民と密着した地域活動を実践されてきた貴協会が今後果たすべき役割は大変大きなものがあり、その高い技術力に対して強い期待が寄せられております。基盤整備を進めているのは建設業界だと胸を張って、自信と誇りを持って、四国らしい優れた技術提案などの情報発信をお願いするとともに、測量設計分野における技術の習得と技術研鑽に努められ、さらに会員各位が一致協力して魅力ある建設産業、地域に貢献する建設産業を構築するため諸活動を展開されるようお願いするものであります。

最後に、四国地域の社会資本整備に向けて、貴協会のますますのご発展と会員各位のご活躍を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 祝 辞

国土交通省国土地理院四国地方測量部  
部長 林 聖 人



社団法人 高知県測量設計業協会が設立30周年という節目を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴協会は、測量及びこれらに関連する設計業務の健全な発達向上を図り、国土の建設等の推進に貢献し、もって建設産業の発展に寄与することを目的に、昭和50年12月に公益法人として認可されました。以来、30年間、我が国の経済情勢は高度成長期あり、2度のオイルショックあり、そしてバブル景気にバブル崩壊ありとめまぐるしい変動に見舞われており、このような中であって、貴協会が常に測量技術の向上と地域の業界の健全な発展のためにたゆまない努力を続け、測量行政の推進に積極的に貢献をされましたことに対し、深く敬意を表する次第であります。

近年、我が国の社会情勢は大きな変革期にあり、政府主導による財政再建、地方分権などの大胆な構造改革が進められております。一方では地球規模で頻発する大災害、安全管理を怠った事故、少子高齢化社会、環境問題の深刻化などの課題があり、これらを踏まえた安全で安心な暮らしを守るための社会資本整備が求められております。

測量業界もこれらの変化に対応して、新たな測量分野への取組み、新技術への対応、技術力の向上、成果物の品質確保、そして、次代を担う人材育成などに積極的に取り組まれて、真に技術力で競う魅力ある業界にしていくことが重要ではないかと思っております。

国土地理院といたしましても、10年後のより良い社会の姿を見据えた第6次基本測量長期計画を昨年スタートさせ、いつでも、どこでも、だれでもが位置情報・地理情報を容易に共有できる環境の整備を目指し、位置情報基盤の整備と利活用の推進、電子国土基幹情報の整備と利活用の推進、防災・減災のための地理情報の整備と利活用の推進を3本柱として、高度情報化社会のニーズに適切に対応した測量行政に取り組んでまいり所存であります。

貴協会におかれましても、これまでの輝かしい実績を基盤にして、「技術と経営に優れた企業団体」として、新しい時代や地域社会の要請に的確に応えられるよう念願するとともに、貴協会の益々のご発展と会員各位のご活躍とご健勝を心から祈念しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 祝 辞

高知県土木部長  
久保田 一水



社団法人 高知県測量設計業協会の設立30周年、誠におめでとうございます。

貴協会は、昭和50年の創設以来、一貫して測量及び調査設計業務の健全な発展と向上に努められ、県行政とりわけ土木行政の円滑な推進に多大の貢献をいただきました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

皆様方ご案内のとおり、本県の財政事情は大変に厳しい状況にあります。土木部の予算につきましても、本年度の当初予算は、ピークであった平成10年度の当初予算の約52%程度にまで減少し、その予算規模は昭和50年代初め頃と同水準まで落ち込んでいます。

一方、これまで本県の社会資本は、貴協会のご協力もいただき一定整備されてきました。しかしながら、整備水準はまだ十分とは言えず、これからも着実な整備が必要ですので、限られた予算を効率的かつ効果的に投資することで優良な社会資本を整備していくことが求められています。

また、今年4月からは、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が施行されましたが、この中でも「調査及び設計の品質確保が重要な役割を果たす」と位置付けられており、貴協会の役割はこれまでも増して重要となっております。

今後とも、時代のニーズに合った着実な社会資本の整備を行っていくためにも、貴協会の皆様のご協力は欠かせませんので、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

社団法人 高知県測量設計業協会の益々のご発展と協会員の皆様のご活躍を心から祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉といたします。

## 祝 辞

(社)全国測量設計業協会連合会  
会長 尾野安次



この度、社団法人 高知県測量設計業協会が設立30周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。誠にお目出とうございます。

さて、30周年と申しますと、大変な歴史で、それは長く、色々な事があったことと存じますが、技術的、経営的な変革を乗り越え、また、業界倫理の確立にも力を注がれ、非常に立派な協会になられたことは、歴代の役員の皆様方及び会員の皆様方の御努力の賜物であり、深く敬意を表するところです。

ここで、全測連の近況について御報告いたしますと、平成17年10月20日に熊本で全国会長会議を行いました。主要議題は全測連の改革と、事業量、業務領域拡大へ向けての電子境界議員連盟の活動を支援しやすくするための政治連盟の設立についてであります。活発な議論のなか、小田会長様からも非常に貴重で建設的な意見をいただきました。結果、会長会議で積極的な御支持と方向づけをいただきましたので、現在、全測連の改革と政治連盟の設立に向けて取り組んでいるところであります。

それから、今 新聞とテレビを賑わせております一級建築士の耐震強度偽装の問題は、地震が起きると人命にかかわる大きな社会問題となっております。工事費を安く上げようとするのが、いかに危険なことかを表しております。私達も技術者の集団であり、公共事業の大切な部門を担当しており、重大な使命を帯びております。技術者としての倫理、モラルの大切さはもちろんのことですが、単に価格競争だけで業者を決めるのではなく品質法の目的である適正な価格で品質確保のできる業務遂行環境の確保に努めなくては、後世に悔いを残すことになりかねないと改めて思っている次第であります。

当地、高知県と言えば温かい黒潮が沖合を流れ新鮮なカツオの上る、酒豪の多いことでも有名な土地柄であります。また、坂本竜馬や吉田 茂に代表されるように、豪放で偉大な指導者が生まれる風土を持った豊かな国であります。

この素晴らしい郷土を、災害から守り、更に発展・充実させて行くために、貴協会は大変重い使命を持ち、かつ、県民から大いに期待されております。貴協会の今後益々の御発展と御活躍を御祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

## 設立30周年を祝して

(社)全国測量設計業協会連合会四国地区協議会  
会長 松本茂樹



このたび、社団法人 高知県測量設計業協会が設立30周年を迎えられましたことに心から祝意を申し上げます。

貴協会は、昭和39年1月に会員7社により任意団体として発足し、昭和50年12月に社団法人に発展的改組を行い、以来30年にわたり国民の生命と財産を守るために、測量設計の技術力の向上と業界のあり方について真剣に取り組まれ、業界並びに地域社会の発展に大きな成果を収めて来られたことに対して深く敬意を表します。

貴協会発足当時は、前年の昭和49年12月まで続いた第二次田中内閣の「日本列島改造論」による高度成長の最盛期でした。この間、目まぐるしい社会情勢の変革の波に幾度も翻弄されましたが、困難な業務を通じて、生活の豊かさと快適性を築き上げる活力に生き生きとした時代でした。その後バブルの崩壊に見舞われましたが、景気浮揚策としての公共投資政策により業界は比較的順調に発展してきました。測量設計業界もGPS、GIS等の技術及び機器の飛躍的進歩により変化してまいりました。

しかしながら、財政危機と小泉政権の構造改革のダブルパンチで今日の厳しい状況に至りました。効率至上主義による地方切捨てと三位一体及び市町村合併です。単に単価を叩く事が改革と勘違いをしています。昨年末に深刻な社会問題となった「構造計算不正事件」は、低価格競争の行き着く先を白日の下に曝け出した事件です。たしかに民間建築と公共土木では性質が異なりますが、病巣は同じです。理念を無視した効率・低価格の答えが出たものと思います。歯止めのない低価格競争は、形こそ違っても将来に必ず甚大な禍根を残す結果となります。

一昨年の高潮・台風被害や昨年の中越地方地震が今年も起こるかもしれません。そして、神戸・明石の阪神大震災や新潟県中越地方地震が示すように、高知県に深刻な被害をもたらす南海地震は目前に迫っています。公共事業に対するニーズの多様化、高度化に対応するためにも、貴協会の存在は極めて重要です。今こそ、環境問題、財務、経営、派生的な問題解決やコストパフォーマンスの分析などを踏まえて、市民参加も含めた官民一体で地域の特性を考慮した合意形成を図ることが必要となります。

これらの変革を克服するためには、小田会長のもと貴協会員全社が一層の結束を固めて立ち向かっていくことが最も重要なこととなります。

終わりにりましたが、会員の皆様のご健康とご多幸並びに会員企業の隆盛を祈念いたしましてお祝いのご挨拶とさせていただきます。

## お祝いの言葉

(社)日本測量協会四国支部

支部長 三井 宏



社団法人 高知県測量設計業協会が設立30周年記念を迎えられたこと、おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。人間の場合、社会へ出て30年もすれば、責任ある仕事で多忙を極める一方、地域貢献をしたいと思う頃でもあります。

景気が上向いている現在は、バブル前の社会情勢に似ているような気がします。その時代は大学紛争があり、殺伐たる世情でした。このようなときに人間を大切にしている会社の話聞き、大変印象が深かったので、ここにご紹介し、お祝いの言葉といたします。

まず、この会社では出勤簿が無いとのことでした。社員は会社で毎日仕事をしているのが当たり前で、そう信じているからだそうです。次に、出張旅費はいくら使ってもよいことです。これも、その金額に見合った仕事をしてくものと信じているからだそうです。この会社では社長を店主、社訓を店訓と言いますが、その店訓の大意は次のようなたった二つの簡単なものです。

一つは、世のお役に立つために、大いに自分を磨こう。職人は腕を磨き、研究者は頭を磨こう。磨けば磨くほど、世のお役に立つ。二つは、一人・一人よりも大勢で協力しあえば、もっと大いに世のお役に立つ。年上の人を尊敬し、同輩と仲良くし、年下の者を可愛がろう。

この会社の名前は出光といいます。私も、研究室にいたことが仕事だと思って、講義が無くても毎日徳島文理大学に出勤しております。皆様が会社を通じ、地域社会にご貢献なされんことを祈ってやまない次第です。